

電撃!直撃 インタビュー

オーストラリアで連日公演を行った日本人アーティストは、過去にもそうはいない。まさに彼らTokyo Shock Boysこそ、日本代表アーティストなのだ!メンバーと音楽担当のgenjiに直撃インタビュー!



誰もやってないことをやって、それがたまたま海外でウケた。日本には我々の芸風はあわないかもね。だから、日本のステージもアウェイって感じだね。アウェイじゃないのは、**カミさん**ぐらいかな。



genji/nishikata

Tokyo Shock Boysの音楽担当、genji/nishikata。5人目のメンバーと言っても過言ではない。彼の音なしでは、Tokyo Shock Boysは成り立たない!



「電撃ネットワーク」とは、当時住んでいた所が三五さんの家の近所で、音響のアルバイトをやっていた**ショーパブ**で知り合ったんですよ。



オーストラリアってだんだん厳しくなってるよね。アメリカナイズされてきたのかな。**訴訟社会**っていうのかな。



genjiと俺との連携の出来で、ショーのほとんどが決まるんです。『ん?遅い、遅いよ〜』とか、『あ、ちょっと早かったかな〜』とか、なんとなく背中語り合ってる。**他の3人は気づいてないけどね。**



お客さんの反応がいいと俺達も**テンション上がる!**

電撃!裏ネタ集①【寿司の天ぷら】

発見!新たな出会い。それは、油をじっとり吸い込んだ手巻き寿司の天ぷら。その手巻き寿司はテイクアウェイ店のショーケースの中に横たわっていました。「ご飯は油、吸うっしょ〜!」もちろん、日本人経営のお店ではございませんでした。

思い入れがある衣装は、初めに出るときに着てるヤツ。これはもう16年前から着てるもので、今も**16年前と同じ気持ち**でやってるぞっていうのもあるかな。



俺の『コーラメントス』のコーラの吹き上げ高さは間違いなく、**世界一**だね!5mは吹き上がってるから!



オーストラリアと日本とでは**喜び方が違う**。日本では大掛かりなネタが喜ばれがちだけど、オーストラリアではあくまで『お笑い』として捉えているようで、小ネタを喜んでくれるね。



今回のツアーでは『TAB (公営賭博場)』に通いまくる。公演の準備が終了し、一息入れに1人でふらっと『TAB』に。この間は**750倍(!?)**のレース、取ったよ!



日本では観賞用の熱帯魚で通ってるあの**バラマンディ**が、こっち来て『フィッシュアンドチップス』のメニューにあって、びっくりした!食ってみたけど、違う魚だと思うよ。

